

メニエール病



メニエール病とは、突然ぐるぐると目が回るような激しいめまい(回転性めまい)や耳鳴り、難聴が起き、発作を不定期に繰り返す病気です。発作の頻度は、数日あるいは数週間、数ヶ月おきで、ひとによって違います。一般的に片方の耳だけに症状が出ることも多いのですが、発病後、数ヶ月から数年で両耳に障害が起きる場合もあります。発作を繰り返しているうちに難聴が高度になったり、めまいが起きない時も、難聴や耳鳴りが継続したりするようになります。 **早期発見・早期治療が大切です。**

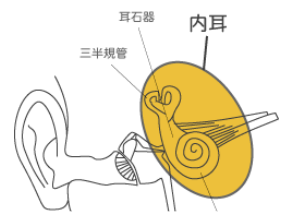
(主な症状)

- ①めまい…30分から数時間程続き、吐き気や嘔吐、冷や汗、頻脈、顔面蒼白など症状を伴うことがよくあります。めまいとともに、あるいは少し前から難聴、耳閉塞感、耳鳴りが起こり、めまいと連動して悪化したり、軽快したりします。
- ②耳鳴り…めまいの発作が起こる前にひどくなり、発作を繰り返すうちに、慢性的な耳鳴りになっていきます。
- ③難聴…発作とともに難聴になる場合と、発作を繰り返すうちに聴力が落ちてくる場合があります。一般的には低音が聞き取りにくくなります。
- ④ふわふわ感…身体が傾く感じになったり、実際によろけてしまったり、静止している物が動いているように見えたりもします。



(原因)

原因は耳の奥にある内耳にあります。内耳は骨と膜の二重構造になっており、膜の内側には内リンパ液が満たされています。しかし、ストレスなどでこの内リンパ液の量の調整がうまくできなくなると、内リンパ水腫ができて、神経が圧迫され、めまい、耳鳴り、難聴の症状を引き起こすのです



(メニエール病になりやすい人・対処法)

メニエール病は30代後半～50代くらいの女性に多く、性格的に几帳面な人や神経質な人、精神的なストレスが多い人、過労や睡眠不足の人に多いといわれています。もし、外出先などで、発作が起きたら、楽な姿勢で安静にし、発作がおさまるのを待ちましょう。セルフケアやコントロールしながら、うまく病気と付き合っていくことが大事です。

(治療法)

・**薬物療法**…メニエール病は耳鼻科で診察してもらいます。主体は薬物療法で、めまい軽くする為の抗めまい薬、吐き気を抑える為の制吐剤、精神安定剤、内耳の水ぶくれを軽減するための利尿剤などを使用します。また、内耳の神経細胞の働きを改善するために、ビタミン剤や末梢血流を改善するお薬などにも使われます。発作の急性期には内服薬ではなく、注射や点滴を行います。改善がみられない場合や、難聴が進行している場合は外科的治療も行われます。

